

授業科目名	基礎ゼミナールⅢ	担当教員	◎平山香代子、○鶴沢淳子、 宮本眞巳、松尾ミヨ子、 栗栖千幸、櫻井一江、 松丸直美
必修	開講年次：2年前期	単位：1単位	授業形態：演習 30時間

【授業概要】

基礎ゼミナールⅡに続いて、教員と学生が少人数のグループの中で、進行する教養科目と「看護学」との関連性について考察し、討議する。

【授業目的・目標】

ゼミナールを通じて学生は教員との定期的な接点を持ち、小グループの中で、学修についての問題点や方法論などを対話する。学士課程教育の後半に何を予測するべきか、話し合いの機会を持つ。

【履修条件】

「基礎ゼミナールⅠ(アーリーエクスポージャー)」、「基礎ゼミナールⅡ」を修得していること

【授業計画】

- | | |
|---|---------|
| [01] 全体ガイダンス、ゼミ毎に自己紹介、選書の購入確認
・テキスト「アカデミック・スキルズ」よりプレゼンテーションのやり方確認
・ゼミの進め方、役割分担の決定 | (全担当教員) |
| [02] 本の精読(担当箇所)の報告、討議、次回の課題の確認 | (全担当教員) |
| [03] 本の精読(担当箇所)の報告、討議、次回の課題の確認 | (全担当教員) |
| [04] 本の精読(担当箇所)の報告、討議、次回の課題の確認 | (全担当教員) |
| [05] 本の精読(担当箇所)の報告、討議、次回の課題の確認 | (全担当教員) |
| [06] 本の精読(担当箇所)の報告、討議、次回の課題の確認 | (全担当教員) |
| [07] 本の精読(担当箇所)の報告、討議、次回の課題の確認 | (全担当教員) |
| [08] 本の精読(担当箇所)の報告、討議、次回の課題の確認 | (全担当教員) |
| [09] 本の精読(担当箇所)の報告、討議、次回の課題の確認 | (全担当教員) |
| [10] 本の精読(担当箇所)の報告、討議、次回の課題の確認 | (全担当教員) |
| [11] 本の精読(担当箇所)の報告、討議、次回の課題の確認 | (全担当教員) |
| [12] [13] 発表会準備(学習内容の振り返り、発表資料作成、リハーサル等) | (全担当教員) |
| [14] [15] 全体で発表会を行う。 | (全担当教員) |

【教科書】

ゼミナールⅢ担当教員が選書した本

【参考書】

佐藤望 編著 アカデミック・スキルズ—大学生のための知的技法入門第2版—慶応義塾大学出版会 2012

【評価方法・評価基準】

ゼミナールⅢ評価表(別紙、後日配布する)の評価項目に基づいた評価点(50点)およびレポート点(50点)の合計により評価する。

【講義のために必要な事前・事後学習】

事前学習：ゼミメンバー全員が、当該箇所を読んでおくことが必須である。

事後学習：仲間との討議から得た気づきをもとにテーマについての考察を深める。理解したことを文章やプレゼンテーションを通じて表現する。

【教育目標(必須要素)との関連】

この科目は、教育目標の必須要素Ⅰ. 教養教育で培う普遍的基礎能力、Ⅳ. テクノロジーを効果的に活用する能力、Ⅴ. 多職種から成り立つ医療チームにおけるコミュニケーションとコラボレーション能力、Ⅷ. 生涯にわたり継続して専門性を向上させる能力と関連する。

【試験や課題レポート等に関するフィードバック】

全体発表会終了後、担当教員より講評を行う。

【備考】